

住みよいむらづくりをめざして

アンケート調査結果報告書

平成22年6月

南箕輪村

目次

I	調査の概要	2
1	目的	2
2	調査の方法	2
3	調査の期間	2
4	回収状況	2
5	集計上の注意	2
II	調査結果分析	4
1	性別（問1）	4
2	年齢（問2）	4
3	仕事の産業分野（問3）	5
4	居住地区（問4）	5
5	居住歴・居住年数（問5）	6
6	定住希望（問6）	8
7	区や組について（問7）	10
8	区・組に入っていない理由（問8）	12
9	区・組についての考え方（問9）	13
10	むらづくり活動への参加（問10）	14
11	むらづくりで有効活用するもの（問11）	17
12	生活環境の満足度・重要度（問12）	19
13	行動範囲（問13）	26
14	まっくんバスの利用（問14）	28
15	まっくんバスの運行について（問15）	29
16	まっくんバスを利用したことがない理由（問16）	29
17	子育て支援の満足度・重要度（問17）	30
18	今後の土地利用について（問18）	33
19	生活の中で環境保全のために気をつけていること（問19）	35
20	生活の中で環境保全のために今後気をつけたいこと（問20）	35
III	自由回答結果	39
IV	調査票	79

I 調査の概要

I 調査の概要

1 目的

村は、平成 19 年 3 月に「人が元気」・「自然優先」・「自立協働」のもと「みんなで創ろう住みよい南箕輪」を将来像に掲げた「南箕輪村第 4 次総合計画」を制定しました。この総合計画は、平成 18 年度～27 年度の 10 年間の村が行う全ての事業についての指針となるものです。

平成 22 年度は総合計画の中間年度にあたり、むらづくり委員会において、現在までの各事業の実施状況等や平成 22 年度策定予定の後期基本計画(平成 23 年度～27 年度)の中身について検証・検討をいただいているところです。

本調査は、後期基本計画の策定や今後のむらづくりに役立てることを目的に、本村に居住する村民が村の現状をどのようにとらえ、どのような暮らしを望んでいるかなどを把握するために実施したものです。

2 調査の方法

本村に在住している 18 歳以上の住民基本台帳登録者から無作為抽出で対象者 1,200 人を選び、郵送による配付・回収方法により調査を実施しました。

3 調査の期間

平成 22 年 3 月 5 日～23 日

4 回収状況

回収状況は次表のとおりです。

回収状況

	配布数	回収数	回収率	有効回答数	有効回答率
村民	1,200 票	552 票	46.0%	552 票	46.0%

5 集計上の注意

- (1) 割合は、サンプル数に対する各選択肢の百分率(%)で、小数点以下第 2 位を四捨五入し、少数点第 1 位までを表記しています。四捨五入の関係で、合計が 100%にならない場合があります。
- (2) 一人の回答者が 2 つ以上の回答をすることができる設問は、各選択肢の割合の合計は 100.0%を超えています。
- (3) 本文中で回答者の年齢「18～29 歳」は、便宜上「20 歳代」と記載しています。

6 その他

平成 17 年 2 月に実施した「新時代のむらづくり」のためのアンケート調査について、本調査票の中では「前回調査」と表記しています。